

平成24年度 第2学年 国語科 シラバス

月	章・単元	学 習 内 容	時間	達 成 目 標	主な評価方法	観点	観点	観点	観点	観点
						① 関	② 話聞	③ 書	④ 読	⑤ 伝国
4	5	ガイダンス	1	○ 今年一年で身につけるべき力を理解することができる。	観察 ノート	○				
		【詩】 「明日」	2	○ 作品に使われている言葉や表現に注目して読み、作者のものの見方や感じ方をつかむことができる。 ○ 表現の特徴を生かして音読することができる。	定期テスト 自己評価 発表		○	○	○	
		【小説】 「アイスプラネット」	5	登場人物の言動や心情を表す表現に着目し、作品を読み取ることができる。 ○ 作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○		○	○	
		【古文】 「枕草子」 自分流「枕草子」を書こう	4	○ 情景描写に着目し、作者の四季のとらえ方や感じ方について自分の考えをもつことができる。 ○ 言葉の響きや調子に親しんで音読することができる。 ○ 自分の季節観が伝わるように描写や構成を工夫して書くことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○		○	○	
		【書写】毛筆 楷書と仮名「豊かな緑」を半紙に書く	2	○ 楷書と仮名の調和を確かめ、配置よく書くことができる。	観察 作品	○		○		
		「説明のしかたを工夫しよう」	4	○ 目的や相手に応じて、必要な情報を整理することができる。 ○ 伝えたい事柄が効果的に伝わるように工夫して説明することができる。	観察 発表 原稿 自己評価	○	○	○		
		【言葉1】 類義語・対義語・多義語	2	○ 対義語・類義語、多義的な意味を表すごくの意味や用法を理解することができる。	観察 定期テスト 自己評価	○		○		○
6	7	「要点を整理して聞き取ろう」	2	○ 目的や状況に応じて話の要点や順序を整理しながら聞き取ることができる。	観察 ワークシート 自己評価	○	○	○		
		【説明】 「やさしい日本語」	5	○ 文章の全体と部分の関係を理解し、筆者の主張を読み取ることができる。 ○ 文章を読んで構成や展開の工夫や筆者の考えについて自分の考えをもつことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○		○	○	
		【書写】硬筆	1	○	観察 ワークシート	○		○		
		「発表資料を工夫しよう」	1	○ 図表やグラフを活用し、効果的な説明を行うための資料を作成することができる。	観察 ワークシート 自己評価	○		○		
		「印象に残る説明をしよう」	5	○ 相手に応じて情報を収集し、効果的な説明を行うための資料を作成することができる。 ○ 論理的な構成や展開に着目しながら聞き、要点をとらえることができる。	観察 ワークシート 自己評価 発表	○	○	○		
		【漢字1】 「熟語の構成」	2	○ 熟語の構成について理解することができる。	観察 定期テスト 自己評価	○		○		○
		【短歌】 「新しい短歌のために」 「短歌十二首」	4	○ 短歌のもつリズムに親しみ、語句の効果的な使い方を理解することができる。 ○ 筆者のものの見方や表現のしかたを読み味わい、自分の考えをもつことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○		○		

9		【書写】硬筆	1	○	観察 ワークシート	○		○		
		「言葉を選ぼう」	2	○ 似た気持ちを表す言葉を比べ、より伝わる表現を考えることができる。 ○ 言葉の微妙なちがいが伝わるように描写を工夫して物語を書くことができる。	観察 ノート 自己評価	○ ○		○ ○		
		【文法1】 単語をどう分ける？	3	○ 活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解することができる。	観察 ワークシート 定期テスト 自己評価	○ ○		○		○
10	3 読書と情報	「メディアと上手に付き合うために」 気になる「あの人」を探ろう 旅する絵描きーパリからの手紙 五重の塔はなぜ倒れないか 読書案内	5	○ 文章を読み、メディアについて知識や体験と関連づけて自分の考えをもつことができる。 ○ メディアを活用して適切な情報を得、興味のある人物についてまとめることができる。 ○ 語句の意味をとらえ、描写の効果を考えながら読み、読書に親しむことができる。	観察 ノート 自己評価	○		○	○	
	4 きずなを読む	【小説】「盆土産」	5	○ 小説を読み登場人物の人柄や心情をつかむことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	
		【書写】毛筆 行書「国際社会」を半紙に書く。	2	○ 行書の字形の整え方に気をつけて、配置よく書ける。	観察 作品	○		○		
		【随筆】字のないはがき	4	○ 人物の言動や心情を表す表現に着目して読み、父親の家族への愛情や筆者の父親への思いを読み取ることができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	
		【書写】硬筆	1		観察 ワークシート	○		○		
		【言葉2】敬語	2	○ 敬語表現の特徴について理解し、相手や目的に応じた言葉を考えることができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○				○
		「気持ちを込めて書こう」	4	○ 伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して手紙を書くことができる。	観察 ワークシート 自己評価	○		○ ○		
		「相手の立場を尊重しよう」	2	○ 相手の考えと自分の考えを比較しながら意見をまとめることができる。	観察 ワークシート 自己評価	○		○ ○		
		「君は「最後の晚餐」を知っているか」	4	○ 読み取り、自分の考えをもつことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○	○	
11	5 いにしえの心を訪ねる	【古文・音読】「音読を楽しもう」平家物語	1	○ 「平家物語」の冒頭部分を音読することで古文の表現や文体の特徴に慣れ、暗唱することができる。 ○ 冒頭部分に書かれたものの見方や考え方について理解することができる。	観察 音読テスト ノート 定期テスト 自己評価	○ ○	○	○	○	
		【古文】「扇の的ー平家物語」	5	○ 古典を音読してその独特の調子やリズムに慣れ、親しむことができる。 ○ 登場人物の心情を想像し、古典に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをもつ。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○		○ ○	○	

12		【古文】「仁和寺にある法師―「徒然草」から」	2	○ 古典を音読してその独特の調子やリズムになれ、味わうことができる。 ○ 登場人物の言動の意味や描写の効果を考え、古典に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをもつことができる	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○			○	
		【漢詩】「漢詩の風景」	3	○ 漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして音読することができる。 ○ 詩の状況や人物の心情を想像し、自分の考えをまとめることができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○			○ ○	
		人物の特徴をとらえて論じよう	2	○ 古典作品に登場する人物の特徴をとらえ、伝えたいことを明確にして文章に書き表すことができる。	観察 ワークシート	○			○	
		【毛筆】書写 文化祭に展示する作品を書く	3	○ 今までの学習をいかしてよりよい作品を書こうとする。	観察 作品	○			○	
1	6 論理をとらえる	「話し合って考えよう」	5	○ 社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見をまとめることができる。 ○ 相手の立場や意見を尊重しながら、目的に沿って話し合うことができる。	観察 ワークシート 自己評価	○			○ ○	
		【文法】 走る。走らない。走ろうよ	2	○ 用言の活用について理解することができる。	観察 定期テスト 自己評価	○			○	○
		【論説】 「モアイは語る―地球の未来」 事実を示して意見を書こう	6	○ 事実や根拠をつかみ筆者の意見を読み取ることができる。 ○ 文章や段落の構成をつかむことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○			○ ○	○
		【書写】毛筆	2		観察 作品	○			○	
	2	「立場と根拠を明確にして書こう」	4	○ 課題に対する自分の意見を決め、根拠を明確にして構成を工夫しながら意見文を書くことができる。	観察 ワークシート 自己評価	○			○ ○	
		【漢字2】同じ訓・同じ音をもつ漢字	2	○ 同音異義語など、読み方が同じでも、意味・用法の異なる漢字や熟語について理解する。	観察 定期テスト 自己評価	○			○	○
	3 自分をみつめる	【小説】「走れメロス」 文章の形式を選び、表現の仕方を工夫して書く	6	○ 語句の効果的な使い方に着目し、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解することができる。 ○ 主人公の考え方について自分の考えをもつことができる。	観察 ノート 定期テスト 自己評価	○ ○			○ ○	○
		【書写】硬筆	1		観察 ワークシート	○			○	
		【文法】 一字違いで大違い	3	○ 付属語について理解することができる。	観察 定期テスト 自己評価	○			○	○
		「表現のしかたを工夫して書こう」	4	○ 気持ちや気持ちの変化が伝わるように表現を工夫して書くことができる。	観察 ワークシート 自己評価	○			○	
		【言葉3】 方言と共通語	2	○ 方言と共通語の果たす役割について理解することができる。	観察 定期テスト 自己評価	○			○	○

	【漢字3】 送り仮名	2	○ 送り仮名の付け方の原則を理解 することができる。	観察 定期テスト 自己評価	○		○		○
	【書写】硬筆	1		観察 ワークシート	○		○		
	身近な人の「物語」を探 る」インタビューをして文 集にまとめる	6	○ 題材を決め、話の構成や展開な どに注意して、話の要点を聞き 取ることができる。 ○ 事実や意図が効果的に伝わるよ う構成や表現を工夫して書くこ とができる。	観察 ワークシート 自己評価	○	○	○		
	【随筆】「言葉の力」	3	○ 筆者の考え方について、知識や 体験と関連付けて自分の考えを もつことができる。	観察 ノート 自己評価	○ ○		○		
合計時数		1 4 0							

観点① 関心・意欲・態度
観点② 話す・聞く
観点③ 書く
観点④ 読む
観点⑤ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

第2学年国語科の評価規準

- ① 関心・意欲・態度
 - ・国語の学習に関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。
 - ・授業を大切にし、積極的に参加することができる。
- ② 話す・聞く
 - ・自分の考えをもち目的や場面に応じて的確に話したり聞きとったりすることができる。
 - ・場面に応じて発言したり表現したりできる。
- ③ 書く
 - ・自分の考えをまとめ、筋道を立てて文章を書くことができる。
 - ・文字を整えて、ていねいに調和した文字を書くことができる。
- ④ 読む
 - ・さまざまな文章を場面に応じて的確に読み取ることができる。
 - ・作者の生き方から自分の生き方をふり返りいかすことができる。
- ⑤ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 - ・語句の意味や用法を理解し正しく使うことができる。
 - ・文字を正確に書けること